

もくじ

- 3月議会のあらまし 2
- 令和5年度当初予算の概要 4
初の200億円超を計上
- 令和5年度注目事業 6
- 予算審議 8
- **幸田町議会基本条例の制定** 10
- 一般質問 12
- 委員会レポート 20
- あい・らぶ・マイタウン 22



幸田町議会HP

こんにちは
幸田
ぎがい



会期 2月28日～3月27日

施政方針

初日、町長が令和5年度予算の概要と施政方針を表明

議案

- 令和5年度の一般会計を始め当初予算関係8件（↓4・5ページ）
- 教育委員会教育長および教育委員など人事案件4件
- 幸田町職員の定年等に関する条例の一部改正など単行議案8件
- 補正予算関係5件
- 最終日の追加議案
- 補正予算関係2件
- 陳情
- 1件を審議
- 議員提出議案第1号
- 個人情報保護に関する条例の制定
- 委員会提出議案第1号
- 幸田町議会基本条例の制定

一般質問

7人の議員が町政全般にわたる課題をたじた。

町長施政方針

町長 成瀬 敦

新型コロナウイルス感染症のまん延の始まりから3年。これまでと違う暮らし方への移り変わりに対しては、町民の皆様と力を合わせて乗り越えてきました。この経験はきっと、未来を拓く力となると考えています。

令和5年度は、コロナ後の新しい社会を切り拓き、安全・安心な未来に向かって、積極的に各種事業を展開してまいります。

①災害への備え ②少子化への備え ③高齢化への備え ④人口減少への備え ⑤ニューノーマル〜新しい生き方、新しい働き方への備え ⑥生活安定への備え

これら6つの備えに重点的に取り組み、自然環境との調和を考えたが、多様な分野において、デジタル活用の挑戦を推進していく考えであります。

「一歩踏み出す新しいまちへの挑戦」の決意で、各種施策に全力で取り組んでまいります。

出産育児一時金の支給額 50万円に引上げ

幸田町国民健康保険条例の一部改正



出産育児一時金の支給額を、42万円から48万8000円に引き上げる。分娩機関が産科医療保障制度に加入している場合は、1万2000円を加算し、50万円となる。

・施行期日
令和5年4月1日

問 出産実費と支給額の差額の支払い方法は。

答 所定額は必ず支給する。出産実費が所定額を超えた場合は、超過分を本人が医療機関に、満たない場合は町が本人に差額分を支給する。

問 岡崎医師会で、産科医療保障制度に加入している医療機関数は。

答 加入医療機関数は10。



幸田町職員の定年 60歳から65歳へ

定年の段階的引上げ期間中のスケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	
昭和37年度	60歳 定年退職	← 暫定再任用 →					65歳					
昭和38年度	情報提供	60歳 役職定年	61歳 定年前再任用	← 暫定再任用 →			65歳					
昭和39年度		情報提供	60歳 役職定年	62歳 定年前再任用	← 暫定再任用 →		65歳					
昭和40年度			情報提供	60歳 役職定年	63歳 定年前再任用	← 暫定再任用 →		65歳				
昭和41年度				情報提供	60歳 役職定年	64歳 定年前再任用	← 暫定再任用 →		65歳			
昭和42年度					情報提供	60歳 役職定年	← 定年前再任用 →				65歳 定年退職	

幸田町職員の定年等に関する条例の一部改正

可決

職員の定年を、令和5年4月1日から令和13年4月1日までの間で、2年ごとに1歳引き上げる。
管理監督職務上限年齢を60歳とする。

施行期日

令和5年4月1日

問 定年が伸びると、新規採用に影響してくるのでは。

答 職員定数は守る。年齢構成を平準化することを勘案しながら、退職補充に固執しない適正な人員管理をしていくことが、重要であると考えている。

定年等に関する条例の一部改正に伴う給与等11条例の一部改正及び廃止

可決

60歳超職員の給料月額、60歳時の給料月額の7割とする。

施行期日

すべて令和5年4月1日

問 勤続年数が5年伸びるが、退職金はどうなるのか。

答 退職金は支給率で計算するが、支給率は勤続35年以上では変わらないので、同額となる。

**一般会計補正予算
5億3568万6000円減額**

可決

歳入 (主なもの)

法人事業税交付金

3000万円

地方消費税交付金

1億1000万円

国庫支出金 (新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金ほか)

▲1億2323万5000円

繰入金 (財政調整基金繰入金ほか)

▲4億6146万3000円

町債 (土木債ほか)

▲9690万円

歳出 (主なもの)

新型コロナウイルスワクチン接種事業

▲1億8330万円

道路新設改良事業

▲1億1800万円

● 出産・子育て応援給付金

5600万円



人事案件

教育委員会教育長

池田 和博 氏

(岩堀区)



同意

教育委員

種吉 沙織 氏 (大草区)

監査委員

大浦 裕 氏 (里区)

固定資産評価審査委員

池田 盛彦 氏 (岩堀区)

陳情

趣旨採択

● 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める。

議案	議席番号	議員名															議長	議決結果 (賛成:反対)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15			
第18号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (12:2)		
第20号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (13:1)		
第21号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (13:1)		
第22号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (13:1)		
第23号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (13:1)		
第24号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (13:1)		
第25号議案	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	可決 (13:1)		
陳情第1号	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	鈴木 久夫	伊澤 伸一	黒木 一	廣野 房男	丸山千代子	稲吉 照夫	杉浦あきら	水野千代子	笹野 康男	岩本 知帆	藤江 徹	足立 初雄	趣旨採択 (13:1)		

※議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。

計上

頼みの大型予算

令和5年度一般会計当初予算

200億7000万円

一般会計予算額の内訳

歳入

自主財源（町民税、固定資産税、寄附金などの独自に確保できる収入）

146億6068万円（歳入に占める割合 73%）

- 町税…………… 87億5420万円
- 寄附金…………… 30億0016
- 繰入金…………… 16億4057
- 諸収入…………… 6億0851
- 繰越金…………… 3億0000
- 使用料及び手数料…………… 2億2284
- 分担金及び負担金…………… 6808
- 財産収入…………… 6632
- 個人町民税…25億5920万円
- 法人町民税… 5億9520
- 固定資産税…48億9100
- 都市計画税… 3億2100
- 軽自動車税… 1億2450
- たばこ税… 2億6100
- 入湯税…………… 230

依存財源（国・県などの補助金、交付金や町債など）

54億0932万円（歳入に占める割合 27%）

- 国庫支出金…………… 20億8531万円
- 県支出金…………… 11億1121
- 地方消費税交付金…………… 10億3000
- 町債…………… 6億9660
- 地方譲与税…………… 1億4180
- その他*…………… 3億4440
- * その他（主な交付金）
 - ・ 法人事業税交付金
 - ・ 地方特例交付金
 - ・ 配当割交付金
 - ・ 株式等譲渡所得割交付金
 - ・ 環境性能割交付金

歳出

- 義務的経費…………… 80億8219万円（40%） 人件費・扶助費・公債費
- 投資的経費…………… 27億4732（14%） 普通建設事業費・災害復旧費
- その他の経費…………… 92億4049（46%） 物件費・補助費・維持修繕費など

■主な新規事業

- 深溝・豊坂小学校 校舎増築
- 岩堀住民広場整備工事
- 久保田コミュニティホーム整備事業
- 坂崎児童館基本設計業務
- 出産・子育て応援事業
- 三ヶ根駅前休憩所改修工事
- 図書館外壁・防水工事
- 幸田荻線歩道設置事業

初の200億円超を ふるさと寄附金、財政調整基金などが

令和5年度 当初予算総額

299億9483万円

歳入

一般会計予算は前年度比6億7000万円増、5つの特別会計と2つの公営企業会計で前年度比3億6838万円の減で、当初予算総額は3億162万円の増となった。

自動車関連企業の業績状況等から、設備投資や新増築の固定資産税など、町税全体で1億8630万円の増額を見込んだ。

ふるさと寄附金は前年度実績を踏まえ2億円の増額を見込み30億円とした。

繰入金は、財源調整及び事業推進のため、財政調整基金等から総額16億4057万円とした。

歳出

将来の展望が開ける輝かしいまちづくりに取り組む。義務的経費は人件費や福祉などの扶助費。

投資的経費としては、長嶺北部地区福祉医療ゾーン開発構想事業、深溝・豊坂小の校舎増築工事、岩堀住民広場整備事業などを手掛ける。

補助費・維持修繕費は、各種団体等への補助金、公共施設等の維持修繕に充てる。

■各会計別の当初予算と採決状況

会計区分	予算額	前年度比(%)	採決の状況	
一般会計	200億7000万円	3.5	反対2：賛成12で可決	
特別会計	土地取得	2億7666	▲74.3	全員賛成で可決
	国民健康保険	32億9272	▲2.1	反対1：賛成13で可決
	後期高齢者医療	6億3647	7.6	反対1：賛成13で可決
	介護保険	23億9941	9.0	反対1：賛成13で可決
	農業集落排水事業	3億6736	▲3.0	反対1：賛成13で可決
水道事業会計	収益的支出	8億347	2.1	反対1：賛成13で可決
	資本的支出	7億9610	73.5	
下水道事業会計	収益的支出	7億6381	6.2	反対1：賛成13で可決
	資本的支出	5億8883	▲6.1	
合計	299億9483	1.0		

賛成

将来の展望が開けるまちづくり

杉浦 あきら 議員

新しい仕組みの特性を生かし、将来の展望が開ける輝かしいまちづくりを推進している。「最小の経費で最大の効果を」という地方自治の原則を十分に認識し、効率的かつ効果的な事務事業の執行を図り、安全・安心なまちづくりに努めてもらいたい。

討論

反対

不要不急の事業は見直しを

丸山 千代子 議員

デジタル田園都市国家構想交付金の活用、スーパーシティ推進、マイナンバーカード普及は地方自治の侵害と情報漏えいの危険がある。高齢者見守り配食事業に物価高騰対策を。長嶺福祉医療ゾーンの見切り発車はやめ、不要不急の事業は見直し、過大投資はやめよ。

反対

今のような財政運営は破綻する

伊澤 伸一 議員

ふるさと納税寄付金は30億円を見込み、地方債を7億円借りても、なお16億4000万円を基金から繰り入れなければならぬ予算運営は異常だ。長嶺北部地区福祉医療ゾーン構想など、事業費総額も示されないまま用地取得することは認められない。

令和5年度



注目事業

予算審議 → 8・9ページ



深溝小学校整備事業

2億5000万円

35人学級を実施するためと駐車場拡大整備



町民プール外壁及び防水工事

9620万円

安全対策のため



豊坂小学校整備事業

1億8781万円

35人学級を実施するためと既存のトイレ改修



出産・子育て応援事業

3943万円

妊娠・出産・子育て等を支援



大草字広野地内用地購入

5700万円

高齢者生きがいセンターの移転のため



DX推進支援委託業務

1714万円

国の方向性と整合性を図り業務改善を推進



道の駅倉庫兼会議室建築工事

3000万円

既存の施設が手狭なため建築する



新郷土博物館建設基本構想・計画策定業務

696万円

建設予定地は、
ハッピーネス・ヒル・幸田「思索の森」辺り



消防団詰所整備事業

1269万円

空調整備と女性トイレの設置



岩堀住民広場整備工事等

1億1505万円

岩堀住民広場用地購入費

6060万円

住民のニーズに応える



带状疱疹ワクチン予防接種事業

587万円

対象は50歳以上で接種費用の一部を負担する

予 算 審 議

～ 一歩踏み出す 新しいまちへの挑戦 ～

予算特別委員会では、

当初予算議案について

2日間にわたり審査し、

多くの質疑、提案を行

った。その主なものを、

まちづくり6つの基本

目標を中心に報告する。

いのちと暮らしを
まもるぞ

【安全・安心】

土地区画整理事業

荻谷地区の事業化に

向けた調査など。

675万5000円

問 事業は特色ある施
策を。

答 緑地を多くし道路
の安全性と排水対
策に配慮する。

問 関係地区への説明
会は。

答 令和5年度に開催
予定。

ドローン機体整備事業

災害対応ドローンを

整備する。

235万6000円

問 操縦できる人は何
人いるか。

答 現在5人いる。



消防署に配備されたドローン

自然豊かに美しく

【環境】

ゼロカーボンシティ事業

情報収集・基礎調査

を実施。

250万円

問 数値目標は。

答 2030年度の温
室効果ガス排出量

を2013年度比、46

%削減を目指す。

環境衛生一般事業

飼い主のいない猫の
避妊・去勢手術費補助
金
10万円

問 詳細の内容を。

答 避妊は1万円、去
勢は5000円。



幸田から全国へ
世界へ

【産業振興】

地域農政総合的推進
事業

道の駅倉庫兼会議室
の建設
3000万円

問 建物を利用して道
の駅の宣伝を。

答 道路側の側面を利
用して考えたい。

ロケツーリズム推進
事業

地域の活性化と観光
事業を推進する。
300万円



ロケで使われた道の駅

問 「どうする家康」に登場する本町ゆかりの武将等の活用を。

答 今がチャンスであり積極的に動く。

お年寄りまでみんなが元氣

【健康・福祉】

带状疱疹ワクチン予防接種事業

対象は50歳以上で接種費用の一部を負担する。

587万円

問 ワクチン接種費用が不活化ワクチンと生ワクチンでは違うしっかり周知を。

答 ホームページなどで詳細を周知して行く。

子育て応援・家事サポート事業

対象は妊婦・就学前の子供を持つ保護者。時間500円、月4時

問以内。

60万5000円

問 買い物などは町外でもよいか。

答 時間内であれば利用できる。

高齢者見守り配食事業

問 配食サービス費を値上げしないで。

答 検討する。

きたえよう！
ここからだ

【教育・文化】

スクールソーシャルワーカー事業

いじめ・不登校・相談など、きめ細やかな対応で解決を図る。

714万5000円

問 中学校区に一人配置を。

答 検討していきたい。

部活動地域移行事業

休日の3中学校に部活動指導員を配置する。421万6000円

問 指導員とは。

答 学校長からの推薦で週に一度、全ての部活動の3分の1以上の種目に配置する。

新郷土博物館建設基本構想・計画策定業務

696万3000円

問 建設予定地は。



思索の森

答 ハッピーネス・ヒル・幸田の「思索の森」あたりを予定している。

みんなのちからで
続くまち

【協働・参画】

幸田の魅力発信事業

ふるさと納税の返礼品提供事業者、新たな地場産業の開発などに要する経費を補助する事で、町の魅力発信。1390万3000円

問 返礼品アイボの件数は。

答 年間50から60台位返礼している。



人気のアイボ

問 アイボの戸籍簿を作らないか。

答 検討したい。

DX推進支援事業

国の方向性と整合性を図るために推進。1714万円

問 具体的な進め方は。

答 デジタル推進対策本部を設置し、推進方針を策定。人材確保・育成推進などのために業務委託する。

三河町村観光交流負担金

300万円

問 事業の内容は。

答 幸田町民が、奥三河3町村に行く時の旅費、宿泊費を補助する。

歳入の主なもの

問 ふるさと納税の真水15億円あるのに、財政調整基金からさらに14億円繰り入れる予算は、資金ショートしているのでは。

答 内外の難局下にあつて町政の停滞を招くことのないように、ある程度の積極性をもって、必要な予算をつけていく考えである。

問 債務返済分を起債で借りている。

答 自転車操業ではないか。経済を見通し、歳入を確保し、限られた財源において有効に計画したいと考えている。

幸田町議会基本条例を制定

令和5年4月1日施行

幸田町議会は、**議会運営や議員活動のルール**を定め、**議会の責任と役割**を町民の皆さんに、わかりやすくお示すため、幸田町議会基本条例を令和5年3月議会において制定しました。町議会の役割と基本条例の主な内容をお知らせします。



【議案提出に至るまでの経緯の概要】

平成31年4月の幸田町議会議員選挙（定数16人）で1人の欠員が生じた。議員の成り手不足解消をテーマとするフリートーク会の設置。（令和2年度から開始）全議員の自由な意見交換を旨とし、毎月開催し議論を深めた。

議会・議員とはどうあるべきか、開かれた議会の在り方などにテーマが広がり、本町議会にも議会基本条例が必要であるとの結論に至った。

【議会基本条例制定特別委員会の設置（令和4年6月24日）】

毎月1回開催

<委員の構成>

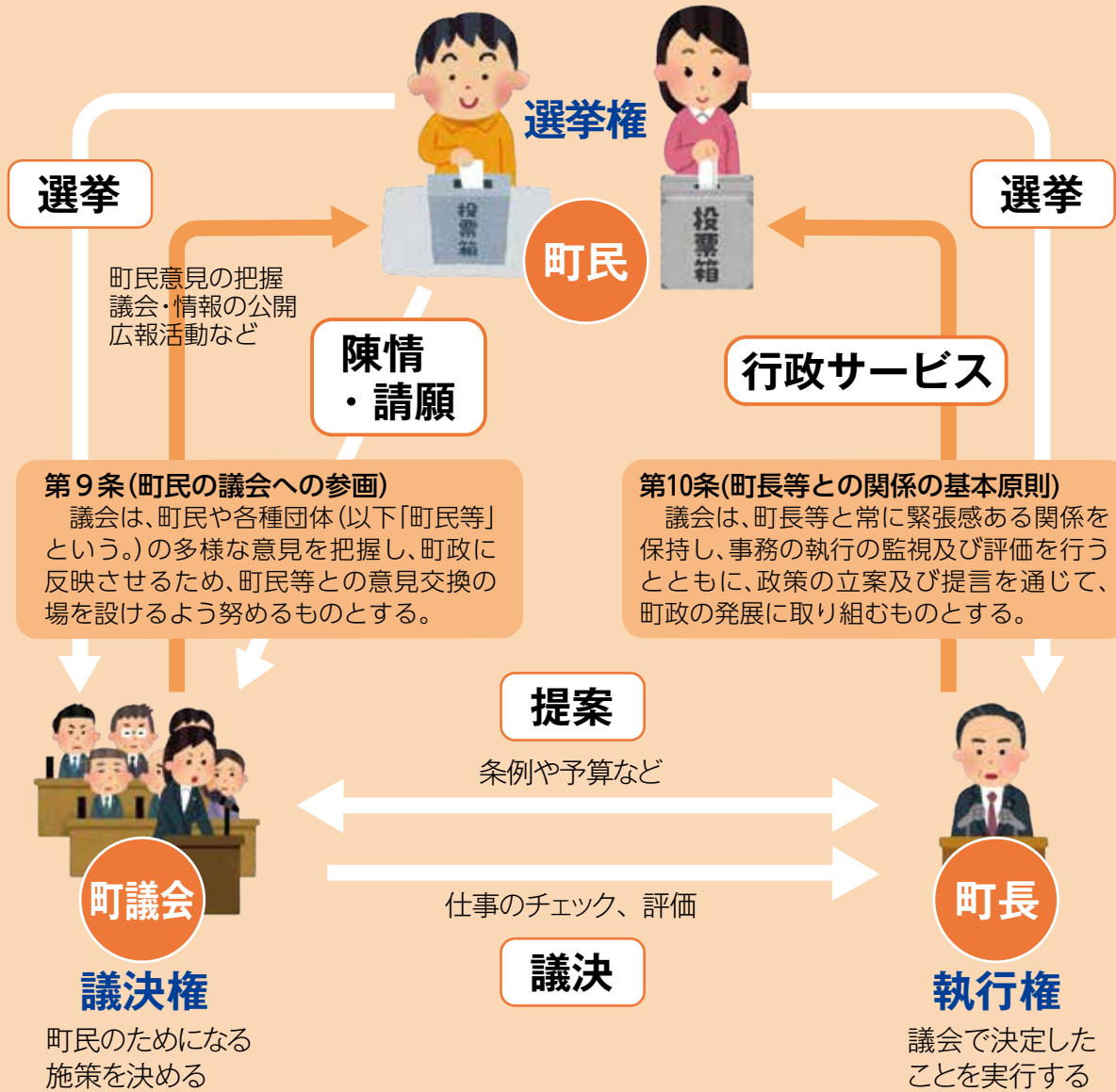
藤江委員長、田境副委員長、
笹野委員、水野委員、稲吉委員、丸山委員、黒木委員、足立議長

○委員から出された主な観点

- ・ 議会・議員の責務と活動原則
- ・ 町民の議会への参画
- ・ 町長等との関係の基本原則
- ・ 政策等の形成過程の説明

町民の皆さんの声を生かすしくみ

町民の声を様々な方法で町議会は把握し、町長等の仕事を議論を通じてチェックし、車の両輪に例えられるように、それぞれ独立した立場から町民生活の向上に努めています。



賛成討論

伊澤伸一 議員

第2条で議会の責務が明確に定められている。これは議会のあるべき姿として明確に示されたもので高く評価。更に第11条で、町長等に対する政策等の形成過程の説明が規定されている。これは事業を進める上で議会人として議案の審査にあたって、当然持っていなければならないもの。

この条例案が目的通り遂行されるよう祈念する。

幸田町議会基本条例の全文・解説はこちら

幸田町議会基本条例の全文および解説を、町議会ホームページに掲載しています。

是非ご覧ください。



一般質問

7議員が提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



一般質問事項

質問者	件名	頁
廣野 房男	1 消防団の存続に新たな施策を	13
	2 空き家の防犯上必要な措置は	
水野千代子	1 ワンストップ窓口の早期導入を	14
	2 投票済証は町独自のデザインを	
丸山千代子	1 学校給食の無償化の実施を	15
	2 中高生の居場所づくりを	
稲吉 照夫	1 20時まで延長保育拡大の考えは	16
都築 幸夫	1 安全安心な広田川改修整備を	17
	2 『どうする家康』効果の活用は	
田境 毅	1 脱炭素化に向けた具体的支援は	18
	2 導入初期費用を減らす事業を	
岩本 知帆	1 育休退園制度の緩和や廃止は	19
	2 大草広野地区福祉推進構想は	

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

町民の声が大切



いしかわ みちこ
石川 倫子さん

今回の傍聴で今、議会での様な議題が取りあげられているのを知ることができました。議員が町民のために活動するには、町民の声が大切だと思います。私達一人ひとりが、常

日頃感じる便利さや不便さを声に出して、議員に届けることが大切だと強く感じました。それが、住みやすい町づくりの「源」に繋がると思うからです。限られた質問答弁の時間も無駄にせず、明確な内容、多岐にわたる議題、議員全員の発言を願うと共に、私達町民の役割も再確認できました。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像

議事録





ひろの ぶさお 議員
廣野 房男

消防団の存続に新たな施策を

消防団力向上モデル事業の推進



問 全国的に、消防団員の成り手不足が深刻な状況であり、幸田町も同様である。団員の確保と消防団存続のため、以下を問う。

答 報酬や各種免許取得制度の見直しは、消防長▼報酬は県内最高である。

また、消防車輛を運転するための準中型免許取得経費のほぼ全額補助制度を開始した。

問 消防団協力事業所表示制度に加入している事業所と、その団員は何人いるか。

答 9事業所で、団員は11人いる。

問 団員応援事業協賛店を増やして欲しいという声もあるが。

答 現在19店の協力を得ている。新たに2店舗、1団体の加入を詰めている。

問 学生消防団員の活動認証証明書は、全国的に効果はあるか。

答 総務省消防庁により全国的な普及が図られている。効力は全国規模である。

問 消防団は行事の為にやっているかと思ふ団員が多い。特に階梯操法にその傾向がある。

答 消防団は行事の為にやっているかと思ふ団員が多い。特に階梯操法にその傾向がある。

る。消防団から切り離す考えはどうか。

答 消防団発足時からやっているが、伝統文化としての存続を含め、今後どうするか協議していく。

問 各地域の自主防災組織にある、可搬ポンプを有効活用するために、地域の防火

出初め式で頑張る消防団



出初め式で頑張る消防団

水槽を使えるようにしたらどうか。

答 自主防災力の強化と初期消火による被害の軽減を期待し、防火水槽の鉄蓋を開ける手鉤を自主防災組織へ貸与して、使える方向で進める。

問 消防団の存続のため、新たな施策はあるか。

答 国が進める「消防団の力向上モデル事業」に採択されるように、先進的な取り組みを、積極的に行う。

り組みを問う。

問 本町の空き家対策は他部署に跨っている。定期的な情報交換する会議は行われているのか。

答 建設部長▼毎年度末に、空き家等対策担当者会議で情報交換などを行っている。

問 空き家所有者と連絡が取れない。町としての対応はどうか。

答 法律で所有者情報の内部利用が規定されている。その中で文書での対応をする。

問 空き家敷地内の樹木が大きくなり、周辺に危険性など、迷惑を掛けているが。

答 周辺家屋や通行人に危険性があれば、土木課など道路管理者で対応を協議する。

空き家の防犯上必要な措置は

関係部局と連携パトロール強化

他市町の空き家利活用を含めた対策事例は、参考になるものが多い地域も心配している町の空き家に対する取

ワンストップ窓口の早期導入を



みずの ちよこ 議員
水野 千代子

令和7年度に進めていきたい



問 デジタル庁が発足、全国の自治体では自治体窓口DX（デジタルトランスフォーメーション）「書かない窓口」が進んでいる。

全国・県内の現況は。

答 企画部長▼北海道北見市・埼玉県深谷市や、隣接の西尾市などが導入している。

問 国の交付金活用の考えは。

答 各課でデジタル活用により事務の効率化、住民の利便性向上が見込まれる業務を洗い出し、令和5年度から交付申請と採択を指していきたい。

問 自治体を取り組む講習会などに携わるデジタル推進委員がいる。本町の考えは。

答 令和5年度に実施するDX推進支援委員業務の中で、各課においてDX推進リー

ダーを養成していく。

問 マイナンバーカードの申請・交付率は。

答 1月末現在で申請件数66・5%、交付率55・3%である。

問 町民は、マイナンバーカードの利用

で窓口での時間短縮ができ、職員は、業務負担の軽減などができる。

問 「書かないワンストップ窓口」の早期導入を。

答 令和7年度の基幹系の標準準拠システムの構築に合わせて進めていきたい。

問 誰一人取り残さな

るために、デジタル化が急速に進み、「書かない窓口」から「行かない窓口」への移行も進むと考える。DX推進にあたり町長の考えは。

答 町長▼デジタル化を促進することが命題である。

町民全体が恩恵を受けられるよう実現に向け、積極的に取り組んでいく。

投票済証は町独自のデザインを

導入する方向で前向きに考える

問 ここ数年の投票率の推移は。

答 総務部長▼直近2回の選挙では、知事選挙では46・64%から44・77%。県議選挙

では46・13%から45・46%。町長選挙では平成22年60・79%から42

・68%。町議選挙では平成19年72・36%から平成23年68・38%と低下している。

問 若年層の投票率が低い。18歳選挙権の実現に伴い、主権者教育が必要となる。その環境整備について教育

長の考えを問う。

答 教育長▼学習の中で政治が自分たちの生活と密接に関わっていることを理解した上で、児童会活動、生徒会活動の充実を進め

る中で、子どもたちが自身が社会の主体者としての意識を養うことが重要だと考えている。

問 投票済証は公職選挙法で規制はない。

町のキャラクターや名所など町独自のデザインの導入と選挙手帳の導入で投票率アップを。

答 総務部長▼町のPRの効果もあり、投票済証のデザインは次回の選挙から導入する方向で前向きに考えていく。選挙手帳は今後検討する。



表面



裏面



丸山 千代子 議員

学校給食の無償化の実施を

現時点で行う考えはない



問 7人に1人の子どもが貧困ラインを下回る。コロナ禍や物価高騰などで学校給食費が、子育て世帯に重い負担となっている。学校給食費の無償化実施を問う。

答 憲法では、義務教育は無償とする規定しているが、理解されているか。

答 教育部長▼憲法を受けて教育基本法がつくられ、授業料や教科書などが義務教育では無償となっている。

問 文部科学省は、学校給食費の軽減や無料にしたところを公表。全国では完全無償化が広がり、254自治体を実施している。把握しているか。

答 人口の多い自治体でも無償化の動きがあり、250程度の自治体を実施している。

問 自治体の規模にかかわらず、予算の1%未満で無償化が実現している。幸田町で実施すると所要額はいくらになるか。

答 令和5年度の当初予算では、1億8738万円で0.93%になる。

問 多子世帯では、段階的でもいいから無償化を進めての声がある。近隣では豊橋市が無償化を実施する。学校給食の無償化は子育て世帯を支援する重要な施策である。実施する考えは。

答 町長▼無償化を現時点で行う考えはない。さらに検討していきたいと思っている。

中高生の居場所づくりを

多世代型の居場所を考える

問 中学生は、家と学校以外の居場所が少ないと指摘されている。気軽に利用できる中高生の居場所づくりを問う。

答 中学生の居場所の必要性をどう考えているか。

答 教育部長▼安全安心で自由に過ごせる場所があるのは、思春期の成長過程において必要と認識している。

問 発達の違いによる居場所の役割は。

答 教育部長▼発達の度合は各自異なるため、年齢・発達にに応じた専門的対応や援助などを行う。

問 中高生の居場所づくりをしている自治体、取り組みの調査は。

答 教育部長▼岡崎・安城・西尾・蒲郡市は、公民館のロビーや学習コーナーを設置。刈谷市は「なごみハート」でフリースペース、学習支援などの居場所づくりを行っている。

問 厚生労働省は、児童館を中学生に対応する施設にする方針である。児童館の整備に盛り込む考えは。

答 町長▼活かせる形で構想を練りたい。

問 中高生が寄りやすい居場所づくりを。

答 児童館の建設と合わせ、多世代型で交流できる居場所づくりを考えたい。



いなよし てるお 議員
稲吉 照夫

20時まで延長保育拡大の考えは

人員配置に苦慮あり現状維持で



問 幸田町は人口5万人を目標に、まちづくりをしている。町長が表明した「6つの備え」の内、少子化の備えを中心に問う。

答 幸田町における出生数の推移は、

事 ▼平成29年度447人、30年度429人、令和元年度424人、2年度383人、3年度362人と減少。

問 育児に不安を持つ人の支援は。

答 子育て包括支援センターで、妊娠期から子育て期のニーズに合わせた相談支援を実施。

問 妊産婦用タクシー補助事業の利用状況は。

答 令和4年4月から5年2月までの期間で5件。

問 役場内での、父親の育休取得状況は。

答 総務部長▼対象者26人で取得者9人、取得率34・6%。

問 町内で外出時のおむつ替え、授乳できる場所の設置状況と周知は。

答 感染症対策担当▼事▼民間で「ママパマップ」のアプリで地図上に示され、設置状況を紹介。

問 ファミサポの一時預かり状況は。

答 住民こども部長▼ファミサポルームのほか、児童館、ほっと館、図書館、援助会員宅で、1か月間で17件の利用。

問 菱池保育園以外でも20時までの延長保育拡大はできないか。

答 人員配置に苦慮している状況で、当面は現状維持。

面は現状維持。

問 0歳から2歳児までの保育料無償化は出来ないか。

答 住民税非課税世帯は無償、多子軽減措置を実施。保育料無償化は国の動きを注視したい。

問 給食費の完全無償化の考えは。

答 県内では、新城市、東浦町、東栄町、豊根村で実施。令和5年度の主食費無償化から取り組み、財政状況を見ながら検討していく。

問 大草広野地区構想到、健全者と障がい者が自然と触れ合う場所を設置する考えは。

答 健康福祉部長▼民間の児童発達支援施設を予定で、障がいに関する理解促進を進めたい。

問 中央の広場にミニコンサートなど多目的に利用できる若者の居場所としての建築物を。

答 小中高校生の居場所としての活用は、本構想を具体化する時の参考にしたい。

問 大草広野地区の福祉ゾーン設置の進め方は。

答 町長▼シルバー人材センターの移転を中心に、周辺医療施設の協力を得ながら、幸田町の福祉施策のあるべき姿を実現できるように、構想を練り上げたい。





議員 幸夫 都築

安全安心な広田川改修整備を

町民生活充実寄与の形を目指す



改修整備が進む広田川（菱池排水機場付近）

問 広田川の河川改修は、本流の河道改修と菱池遊水地による整備が進められている。安全安心な広田川の改修整備を問う。

答 建設部長▼令和8年の菱池遊水地完成に合わせて進めている。浚渫も実施する。

問 広田川菅堂地区の堤防強化は必要なのか。

答 建設部長▼令和8年の菱池遊水地完成に合わせて進めている。浚渫も実施する。

問 下のから河川改修が進み、当該箇所には到達すれば補強改修される箇所である。

答 菱池遊水地の平時の活用は、どう考えているのか。

問 サッカー場2面を中心とした、緑地運動公園にしたいと、県に申し入れている。

答 平時に運動公園として利用する場所は、湛水頻度の見積りは、

はされているのか。

答 ゾーンA、B、C各エリアの湛水頻度を見積り、活用を協議している。今後は各エリアの湛水頻度を勘案し、問題ないよう計画策定する。

問 菱池遊水地アクセス道路は、今後観音橋架け替えがあれば、これを利用した新観音橋ルートはあるのか。

答 新観音橋への架け替えの際には、前田橋南信号交差点〜丸田踏切〜新観音橋ルートの検討を進めたい。

問 広田川が安全安心になるよう、河川改修整備を。

答 治水安全な河川はもちろん、遊水地の平時の活用も、町民生活充実に寄与する形を目指して進めたい。

『どうする家康』効果の活用は

ロケツアーリズム立場から考える

問 大河ドラマ『どうする家康』効果の活用を問う。

答 このドラマに対する、本町の認識は、環境経済部長▼本町ゆかりの武士が登場している。町の知名度アップ、新たな観光スポットの創出等のきっかけとなり得る。

問 本町とゆかりの三河武士、夏目吉信、平岩親吉を、ほとんどの町民は知らない。その点どう思われるか。

答 教育部長▼幸田町ゆかりの人物に焦点を当て、この旬な時期に講座等の事業を進めたい。

問 有名な先生を招き、『どうする家康と幸田町ゆかりの三河武士』等の題目で、講演会をやったらどうか。

答 文化振興協会と相談し、広いホールを活用してできないか考えている。

問 今年の彦左まつりで、大河ドラマ放映記念として、夏目吉信と平岩親吉の特別ゲスト参加はどうか。

答 環境経済部長▼良いタイミングであり、主催者の商工会と協議し検討していく。

問 せっかくの『どうする家康』効果を、町はどう活用するのか。

答 ロケツアーリズムの立場から活用や効果を考え、広報やイベント等で周知していく。

脱炭素化に向けた具体的支援は



田境 毅 議員

新たに補助、既存補助拡充予定



問 令和5年度予算の脱炭素化に向けた考え方、具体的支援は。

答 環境経済部長▼2013年度比46%削減。新たに省エネ家電購入費補助、既存補助の拡充を予定。

問 地域課題解決、暮らしの質向上を実現しながら、脱炭素に向かう「脱炭素先行地域」応募の考えは。

答 まずは地域特性や課題整理等行い、解決を共に考える民間事業者を見い出したい。

問 関係部署間で温度差なく取り組みを。環境経済部長▼第4次地球温暖化対策実行計画にて具体的な取り組みや目標を定めて進めたい。

答 建設部長▼道路照明灯は470灯中の141灯。更新計画はなく、建て替え等の際に変更する対応。全照明灯LED化には約1億円必要。更新計画の策定やリースの検討を進めたい。

問 公共施設へのセンサーライト導入や事務職場の、タスク・アンビエント照明化は。

答 企画部長▼タスク・アンビエント照明は導入コスト、設置場所の問題から検討課題。調査し検討したい。

問 教育部長▼各学校に合わせ整備を検討。勤労者体育センター玄関口などに設置検討。

答 信号灯器LED化の現状は。警察と計画を策定すべきでは。総務部長▼車輦用信号機94か所、LED化率70・2%。積極的な要望を続ける。

問 次世代自動車購入補助の拡充の考え。環境経済部長▼事業所向け補助金上限額引上げ。予算額は前年度比150万円増。

答 必要などころに必要なだけの光を届ける照明

問 共同購入事業広域連携含め検討

答 既設も対象とした支援及び推進体制を問う。

問 住宅用太陽光発電システム導入状況。環境経済部長▼令和3年度設置容量は1万418kw、1件当たり平均導入容量は4・68kw。年々増加傾向。

問 寿命による交換に対しパネル増設支援の考えは。

答 県及び市町村の動向を注視し対応に努めたい。現行制度においても既設撤去し補助メニューに適合すれば補助が可能。

問 豊田市で導入初期費用を減らす事業を開始。既設住宅への設置促進、広域連携は。

答 共同購入事業は利用者に入れやすいしくみ。広域連携も含め検討したい。

問 組織体制の強化、適切な整備を。総務部長▼適正・適切な人員体制の強化を検討。上手くコントロールしたい。

ことば解説
【※タスク・アンビエント照明】
必要などころに必要なだけの光を届ける照明



設置が進む太陽光パネル



いわもと ちほ 岩本 知帆 議員

育休退園制度の緩和や廃止は

利用状況と保育体制両立を模索



安心して産み育てられるよう少子化対策を。

問 第2子・3子の出産をためらう要因の把握は。

答 住民こども部長▼ 家庭により様々だが、子育てや金銭面で不安を持っている。

問 保育園の兄弟による入園助成は。

答 多子軽減措置により2人目半額、3人目以降無償となる。

問 4月からの保育園利用見込みは。

答 保育園の入所率は全体で73・3%。

問 令和4年度の育休退園の状況は。

答 0歳1人、1歳12人、2歳9人、合計22人。

問 育休退園の緩和や廃止の考えは。

答 利用状況と保育体制に鑑みながら両立できる方法を模索。

問 保育士の雇用状況は。

答 保育士のなり手不足で確保に苦慮。

問 働きやすい環境整備として給与と休暇取得は。

答 休暇はほぼ取得。給与は町全体の課題として捉えていく。

問 子育て環境と保育現場の現状について町長の考えは。

答 町長▼少子化対策としても、子育てしやすい支援の充実と保育環境の整備に努めていきたい。

大草広野地区福祉推進構想は

全世代が集う総合福祉の場

問 大草広野地区福祉施策推進構想のコンセプトは。

答 健康福祉部長▼町民の大きな笑顔と医療で広くつながる福祉の拠点。

問 対象利用者は。

答 高齢者支援ゾーンは高齢者。障がい者福祉連携ゾーンは障がい児とその家族・医療機関利用者。地域活動支援ゾーンはどなたでも利用できる。

問 中学生以上の居場所。

答 住民こども部長▼ 図書館や町民会館の談話室。中高生の居場所は不足感と認識。

問 児童館の状況は。

答 4小学校区に1つずつ。児童館の無い坂崎学区は基本設計、幸田学区は用地選定を進める。

問 地域交流ゾーンに子ども・若者の居場所を設けては。

答 健康福祉部長▼利便性が高い交流の場となるよう考える。

問 福祉避難所の対象に妊産婦や新生児、乳児は想定しているか。

答 妊産婦や乳児も対象と想定している。

問 大草広野地区福祉施策推進構想について町長の考えは。

答 町長▼子どもも大人も一緒に交流でき、全世代が集う総合的な福祉の場とする。

土地利用コンセプト

～町民の大きな笑顔とたくさんの人が広くつながる福祉の拠点～



大草広野地区福祉構想図

総務教育委員会

協議会
2月9日

「生涯学習課」の課名を 「文化スポーツ課」に変更



南部交流プラザやまびこ館（逆川）

新郷土博物館、新体育館構想の計画づくりが進む。歴史資源を大切にす環境と、スポーツに親しむ社会を、地域と共に構築するなど、教育分野で「文化」「スポーツ」を強力に推進する。
そのため課名変更である。

問 グループ名はどうするのか。ホームページの変更など、どのくらい掛かるのか。
答 グループ名は今後考えて行く。4月

1日に間に合うよう準備している。

幸田南部まちづくり交流拠点施設の愛称が、深溝小児童などの応募の中から、「南部交流プラザやまびこ館」と決定した。

問 南部の人たちだけでなく、町全体で使ってもらえる施設にして欲しいが。

答 各課が他の施設で行っている行事などを、可能であればこの施設を使うことなどを考えている。

問 今までの施設とはここが違うなど、アピールすることはあるか。

答 防災啓発拠点ということから、デジタル技術を使った施設整備を予定している。(その他8項目を協議)

管内視察
1月16日

順次整備される 防災関連施設を視察

相見駅設置の 防災備蓄倉庫

大規模災害発生時の対策として、JR利用帰宅困難者のために設置した。

500人分の防災食、飲料水、ブランケットなどが備蓄されている。

災害用マンホール トイレ（幸田小）

災害時に被災者がトイレが使えず、体調を崩すことが無いように基幹的避難場所10か所に順次整備を進める。

モバイル型建築 ユニット整備

企業版ふるさと納税制度で寄附されたもの。消防本部、三ヶ根駅東口、清幸園の3か所に置かれ、平常時は訓練などに使い、災害時は要請により、被災地へ搬送する事もある。



福祉産業建設委員会

協議会
2月6日

大草広野地区福祉構想 決まる



高齢者生きがいセンター予定地（大草）

年々増加する高齢者が「生きがい」を持って生活を送ることができるよう、就労機会の創出、健康保持、地域交流による生きがい推進、介護予防等の場を創出。
構想対象地域では、高齢者生きがいセンターの移転・拡充構想を中心に、高齢者、障がい者福祉及び子どもの発達支援など、総合的な福祉施策推進の拠点づくりを目指す。

問 若者の居場所は。エリア構成の中で、若者という言葉を取り入れ考えたい。（その他17項目を協議）



シルバー人材センター事務所予定地（大草）

問 横断歩道の位置は。現在と同じ様な道路構成で整備したい。
答 歩行者と自転車の安全対策は。子どもが自転車で走ることを想定し、子どもにわかりやすい表示に努めたい。

管内視察
1月26日

し尿・浄化槽汚泥処理方法などを視察



清幸園衛生処理場

竣工後30年を経過し、今後のし尿、浄化槽汚泥の処理方法について、調査を開始している。



蒲都市下水道浄化センター

施設の機能は、下水道管で集め、活性汚泥法によって浄化したのち、三河湾に放流している。



高齢者生きがいセンター予定地（大草広野）

町民の大きな笑顔と医療で広くつながる福祉の拠点をコンセプトに、町民の健康と生きがいづくりをサポートする。



自立支援「みらい」

2020年9月に完成した体験型宿泊施設で、障がい者とその介護者が利用できる。

あい・らぶ・マイタウン

I Love KOTA.

魅力あふれる幸田町

南部中学校3年
やまもと あやめ
山本 彩姫さん



私は幸田町が大好きです。季節ごとに色を変える山々や生き物の鳴き声など、自然がたくさんあります。また、地域の方が優しくて「こんにちは」「おかえりなさい」と声をかけてくださいます。東京のような大きなビルや施設がない分、ご近所さんや地域の方との交流があるのです。それに、思いっきり遊べる広場や歴史ある場所、きれいなあじさいの咲く所などもあります。幸田町は、たくさんの魅力があります。私が大人になったときも魅力的な町に貢献できるようにしたいです。



大好きな幸田町

幸田小学校6年
たなか よしあき
田中 孔明さん



ぼくは幸田町が大好きです。理由は特産物がおいしいからです。なすは味噌をつけて食べるとおいしいし、筆柿はそのまま食べるのが一番おいしいです。イチゴは、何かに乗せて食べるとすてきなデザートになります。自然の多い幸田町で、農家の方が一生懸命に育ててくれているから、こんなにおいしい物ができるのだと思います。他にも、自然が豊かで、公園や広場もいっぱいあって、友達と外で遊ぶことができます。おいしい食べ物があり、自然がいっぱいの大好きな幸田町を、もっとみんなに知ってもらいたいです。



まきの つぎお
絵：牧野次男さん（芦谷）

議会広報特別委員会

委員長 稲吉 照夫

副委員長 都築 幸夫

委員 水野 千代子 藤江 徹 廣野 房男
黒木 一 鈴木 久夫 田境 毅

幸田町議会だより No.188 2023.4.27発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会
発行責任者 ● 議長 足立 初雄
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970
Eメール gikai@town.kota.lg.jp
幸田町ホームページ <http://www.town.kota.lg.jp/>

議会を傍聴してみませんか

[場所] 役場5階

[時間] 午前9時から

【6月定例会の予定】

6月 5日(月) 開会、議案の説明
8日(木) 一般質問
9日(金) 一般質問
14日(水) 議案の質疑
15日(木) 議案の質疑
19日(月) 福祉産業建設委員会
21日(水) 総務教育委員会
23日(金) 議会運営委員会
28日(水) 討論、採決、閉会

議案、一般質問、質疑については、幸田町議会ホームページで随時公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)